

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年2月12日

上場会社名 株式会社 ランディックス 上場取引所 東
 コード番号 2981 URL https://landix.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 和也
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 松村 隆平 (TEL) 03-3427-7711
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,596	△6.4	397	△49.7	373	△51.2	248	△52.3
2020年3月期第3四半期	5,980	—	789	—	764	—	520	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 248百万円(△52.3%) 2020年3月期第3四半期 520百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	88.71	87.70
2020年3月期第3四半期	221.22	212.45

(注) 1. 2019年3月期第3四半期は、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(注) 2. 当社株式は、2019年12月19日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2020年3月期第3四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、新規上場日から第3四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	8,547	4,622	54.1
2020年3月期	8,157	4,474	54.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 4,622百万円 2020年3月期 4,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(参考) 配当予想の修正につきましては、本日(2021年2月12日)公表の「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,305	2.7	560	△44.1	520	△46.3	323	△52.1	115.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(参考) 連結業績予想の修正につきましては、本日(2021年2月12日)公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	2,809,593株	2020年3月期	2,775,393株
② 期末自己株式数	78株	2020年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2,799,548株	2020年3月期3Q	2,355,056株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済においては、一旦は収束の兆しがみえた新型コロナウイルス感染症拡大の影響が再度勢いを増し、事業環境としては先行き不透明な状況が継続いたしました。

当社グループが属する国内の不動産住宅市場においては、新型コロナウイルス感染症の影響による住宅に対する概念の変化や現住居への不満等をきっかけとして顧客の購買意欲の高まりがみられ、自社サイト「sumuzu」におきましてもPV数やユニークユーザー数は着実に増加いたしました。

このような状況の中、当社グループでは、富裕層を中心とした顧客データの蓄積を進めており、データストックの活用による効率的なインサイドセールスを推進してまいりました。また、不動産売買のさらなる収益性の向上を目的として、富裕層顧客データに基づいた対面による営業活動と併せて、テクノロジーの活用による不動産マッチングビジネスの拡充にも注力いたしました。これらの取り組みを通じて、当第3四半期連結累計期間における新規顧客の獲得数は好調に推移いたしました。第1四半期会計期間における外出自粛ムードが当社グループの業績に影響を及ぼしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,596,778千円（前年同四半期6.4%減）、営業利益は397,086千円（前年同四半期49.7%減）、経常利益は373,166千円（前年同四半期51.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は248,337千円（前年同四半期52.3%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① sumuzu事業

当第3四半期連結会計期間におきましては、第2四半期連結会計期間同様に住宅ニーズの高まりから集客数が増加しており、不動産売買が好調に推移しました。

その結果、売上高は5,556,896千円（前年同四半期6.2%減）、セグメント利益は558,711千円（前年同四半期40.0%減）となりました。

② 賃貸事業

賃貸事業においては、居住用の収益物件においては新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による急な退去などはなかったものの、第2四半期連結会計期間同様にリゾート施設における賃料収入においては落ち込みがみられました。

その結果、売上高は38,752千円（前年同四半期29.0%減）、セグメント利益は18,065千円（前年同四半期41.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、390,266千円増加の8,547,447千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ、369,601千円増加の6,486,109千円となりました。これは主に現金及び預金が313,849千円減少し、仕入活動の強化によりたな卸資産（販売用不動産）が677,664千円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ、20,664千円増加の2,061,337千円となりました。これは主に建設中の新事業所の工事代金の支払いに伴い建設仮勘定が44,635千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、242,586千円増加の3,924,851千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ、303,544千円増加の2,760,077千円となりました。これは主に未払法人税等が235,021千円減少した一方で、たな卸資産（販売用不動産）の増加に伴い短期借入金が506,899千円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、60,958千円減少の1,164,773千円となりました。これは主に長期借入金59,607千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、147,680千円増加の4,622,596千円となりました。これは主に剰余金の配当を138,769千円実施したことと、親会社株主に帰属する四半期純利益を248,337千円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間までの業績進捗を踏まえ修正しております。その詳細につきましては、本日(2021年2月12日)公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績予想は当事業年度末までの期間において、新型コロナウイルス感染症拡大による影響がsumuzu事業における潜在顧客の購買意欲や集客数、物件案内数に著しい悪影響を及ぼさないことを前提としており、感染者数の増減や収束時期等によっては変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,691,032	3,377,182
たな卸資産	2,240,509	2,918,174
その他	184,966	191,373
貸倒引当金	—	△620
流動資産合計	6,116,507	6,486,109
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	420,047	420,047
減価償却累計額	△98,075	△109,293
建物及び構築物(純額)	321,972	310,754
車両運搬具	28,380	28,380
減価償却累計額	△22,451	△24,967
車両運搬具(純額)	5,928	3,412
工具、器具及び備品	19,338	19,017
減価償却累計額	△12,638	△13,845
工具、器具及び備品(純額)	6,699	5,171
土地	1,558,470	1,560,376
建設仮勘定	—	44,635
有形固定資産合計	1,893,071	1,924,350
無形固定資産	411	196
投資その他の資産	147,190	136,791
固定資産合計	2,040,673	2,061,337
資産合計	8,157,181	8,547,447

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,843,701	2,350,600
1年内返済予定の長期借入金	83,684	83,787
未払法人税等	235,021	—
賞与引当金	1,414	32,832
その他	292,711	292,857
流動負債合計	2,456,533	2,760,077
固定負債		
長期借入金	1,166,628	1,107,021
その他	59,103	57,752
固定負債合計	1,225,731	1,164,773
負債合計	3,682,265	3,924,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	459,210	478,362
資本剰余金	672,078	691,230
利益剰余金	3,343,627	3,453,194
自己株式	—	△191
株主資本合計	4,474,916	4,622,596
純資産合計	4,474,916	4,622,596
負債純資産合計	8,157,181	8,547,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	5,980,486	5,596,778
売上原価	4,394,417	4,377,673
売上総利益	1,586,069	1,219,104
販売費及び一般管理費	796,771	822,018
営業利益	789,297	397,086
営業外収益		
還付加算金	—	462
違約金収入	10,120	—
その他	1,650	219
営業外収益合計	11,770	681
営業外費用		
支払利息	25,147	23,243
株式公開費用	11,906	—
その他	0	1,357
営業外費用合計	37,055	24,601
経常利益	764,013	373,166
特別利益		
保険解約返戻金	55,658	18,969
特別利益合計	55,658	18,969
特別損失		
固定資産除却損	—	147
特別損失合計	—	147
税金等調整前四半期純利益	819,672	391,989
法人税等	298,677	143,651
四半期純利益	520,994	248,337
親会社株主に帰属する四半期純利益	520,994	248,337

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	520,994	248,337
四半期包括利益	520,994	248,337
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	520,994	248,337
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
税金費用の計算	<p>税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。</p> <p>ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。</p>

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定につきましては、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	sumuzu	賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,924,222	54,574	5,978,797	1,689	5,980,486	—	5,980,486
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,924,222	54,574	5,978,797	1,689	5,980,486	—	5,980,486
セグメント利益	930,951	30,917	961,868	1,689	963,558	△174,260	789,297

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸物件管理事業及び保険代理店事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去1,656千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△175,916千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	sumuzu	賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,556,896	38,752	5,595,649	1,128	5,596,778	—	5,596,778
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,556,896	38,752	5,595,649	1,128	5,596,778	—	5,596,778
セグメント利益	558,711	18,065	576,777	1,126	577,903	△180,817	397,086

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸物件管理事業及び保険代理店事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去1,636千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△182,453千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。